

1. 関西パビリオンの基本コンセプト

(大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会 資料より)

(1) 出展参加のテーマ

『いのち輝く関西悠久の歴史と現在』

(2) 出展参加でめざすもの

● 地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信

関西各府県的生活環境、産業立地、観光・文化等の魅力を、各府県ごとの切り口で提示し、日本で最も長く息づき、根付いてきた地域の「いのち」の姿と、未来へと続く「いのち」の姿を日本・世界の人々に伝える。

● 関西各地へのゲートウェイ

来場者に関西地域での暮らし・仕事・楽しみを示すとともに、関西各地への来訪を促すゲートウェイ機能を担うことを目指す。

(3) 出展参加の主体

● 出展参加の主体：関西広域連合

● 出展参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

※隣接する大阪パビリオンと連携・協力

(4) 関西パビリオンの基本構成

① 関西全体を表現する展示スペース

関西パビリオンのエントランスとして、関西各府県を一体的に表現する展示スペース

② 出展参加府県による独自展示スペース

出展参加府県が来館者に訴求したいポイントに沿い、参加府県それぞれが趣向を凝らした展示を展開するスペース

③ WEBパビリオン

WEB上でもパビリオンを展開し、リアルのパビリオンとも共鳴させ、可変自在な展示を展開する。

関西パビリオン建築計画の概要

2. 建築計画の概要

建物のコンセプト

『笑顔あふれる輝く未来へ、いつも楽しい、にぎわいのパビリオン』

特徴

- ① 灯籠をイメージした六角形のパビリオン
- ② 最高12mの高さを活かした展示
- ③ 膜をスクリーンとしたプロジェクションマッピング
- ④ いにしえより受け継がれてきた切り絵で“関西”を表現
- ⑤ 附属催事スペースでのイベント開催
- ⑥ 軽量素材・省資源化による環境負荷及びコストの低減



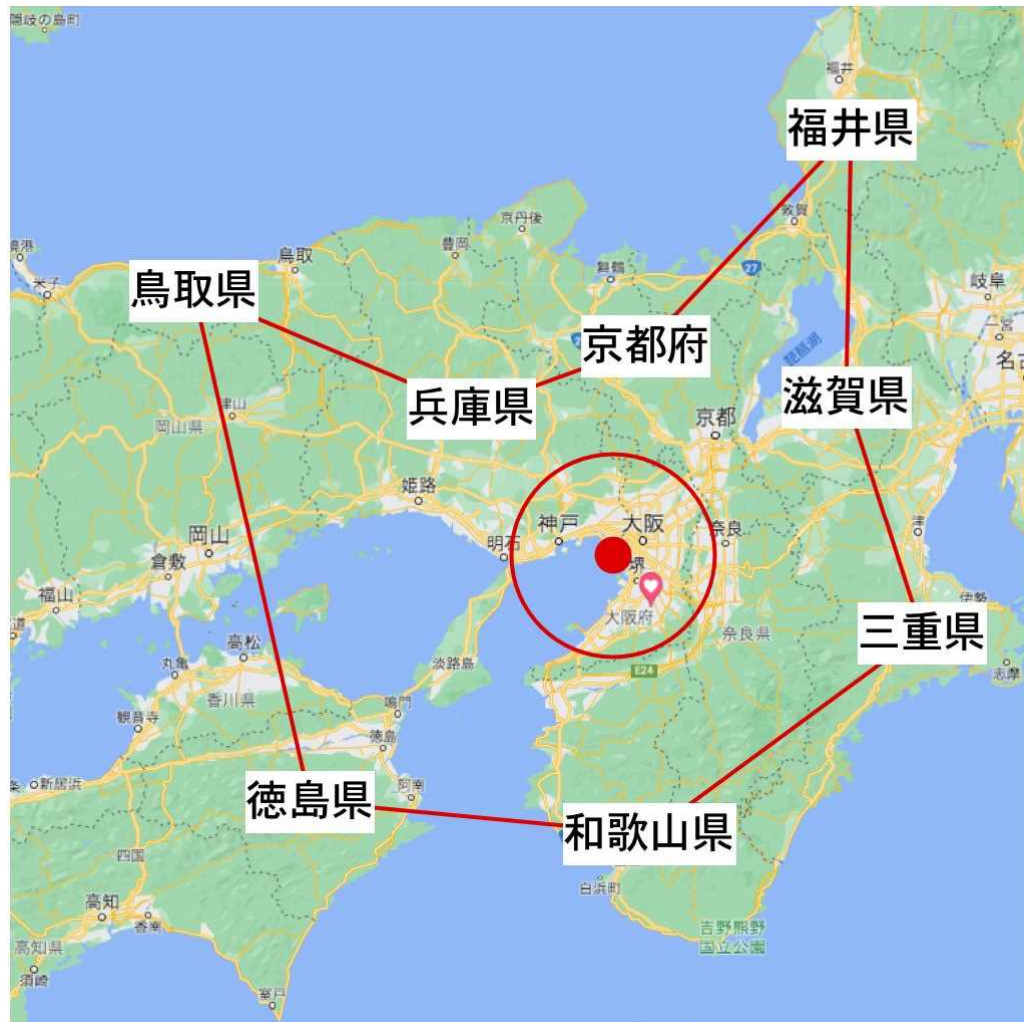
注) 建築計画は、外観や内部レイアウトを含め、今後具体化していく中で変更することがあります。

(提供 2025年日本国際博覧会協会)

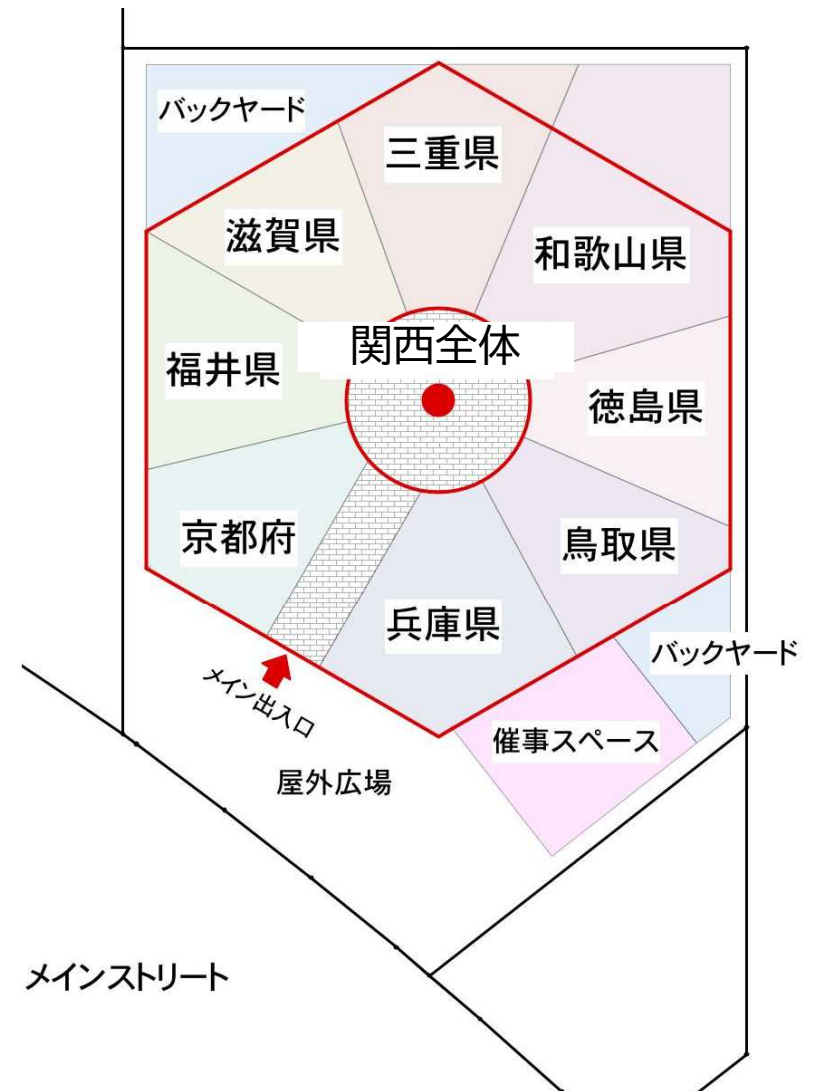
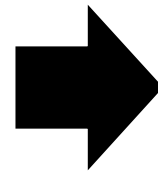
関西パビリオン建築計画の概要

内部レイアウトイメージ

- 関西パビリオンに参加する府県は、大阪・関西万博の開催地を中心として取り囲むように立地。
- その参加府県の地理や隣接関係を来館者が自然と感じとれるように、展示スペース内の並びを地理的配置で表現。
- また中心で関西全体を表現する展示を展開することで関西を一体的にアピールする。



関西パビリオンに参加する府県は、大阪・関西万博の開催地を中心として取り囲むように立地しており、これらを地理的な並びで配置



来場者は、メイン出入口から中央の関西スペースに入り、そこから訪れたい府県の展示スペースに引き込まれるレイアウトとする